

# すわみつえ通信

No.293 2023年11月27日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

市民の声が届く福祉・教育優先の街づくり、命・暮らし・平和守る市政に

## 12月市議会始まる

今年最後の市議会定例会は、11月28日（火）から12月18日（月）まで21日間の会期で開催されます。

放課後児童クラブ・福祉施設・図書館・公園・文化センター・体育施設など公共施設の指定管理者の更新による議案27件を含む「小中学校適正配置」の第3弾となる「小谷小学校廃校」に向けた条例改定議案、「国民健康保険税の値上げ」議案、「消防団員の報酬引き上げ」議案など全部で38件です。物価高騰から「暮らし守れ」の市民の声、イスラエルのガザ攻撃・殺戮が行われる中、平和を希求する市民の声を議会に届けます。

## 【12月定例会 会期日程】

11月28日（火）	本会議（議案上程・説明）
12月1日（金）	本会議（議案に対する質疑・討論・採決・委員会付託）
12月5日（火）	文教福祉常任委員会 まちづくり常任委員会
12月6日（水）	政策総務常任委員会 市民環境常任委員会
12月8日（金）・11日（月）・13日（水）・14日（木）	一般質問
12月18日（月）	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決） 閉会

## すわみつえ市議一般質問

12月14日（木）午前9時より

### 教育行政

1. 地域住民が求めている「丁寧な説明」について  
(1) 小谷小学校地域の住民が行った小谷小学校廃校に関するアンケートについて  
①教育委員会はアンケート結果をどう受け止めたか  
②児童・保護者・地域住民に対する「丁寧な説明」が要望されているがどう応えるか  
2. ICT教育推進における教室設備及び教職員配置について  
3. 不登校児童生徒の現状と居場所づくりの進展について

### 環境行政

1. 市民が手軽に「花いっぱい」のまちづくりを行えることについて  
(1) 「燃やしやすいごみ袋」への転換でごみ減量を行うことについて  
(2) 生ごみはコンポストで堆肥にし、各家庭でも「花いっぱい」を体感できることについて

### 健康福祉行政

1. 高齢者が安心して利用できる介護サービスについて

(1) 本市の介護従事者不足の実態について  
(2) 本市独自の介護職員就職支援事業の充実について

吹上・北新宿 生涯学習センター  
児童センターまつりが開催



11月25日（土）、吹上・北新宿生涯学習センター 児童センターまつりを拝見しました。市民の皆さんの文化活動での作品展示とホールでの芸能発表が行われました。生花を見て、40年以上前に私も習った「嵯峨流」が思い出されました。懐かしい！



### 【俳句コーナー】

晩秋や「翔んで埼玉」郷土愛

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

# 主張 政治資金収支報告 相次ぐ疑惑 脱法違法を許すな

相次ぐ「政治とカネ」問題で岸田文雄政権への不信が高まる中で、2022年の政治資金収支報告書（総務相提出分）が公表されました。政治資金規正法は「政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われる」ため、政治資金の収支は疑惑を招かないよう「公明正大」に行うことを定めています。いま国会では、自民党の主要5派閥の政治資金パーティー収入（18～21年）で約4000万円もの不記載があったことが大問題になっています。悪質な脱法・違法行為を徹底的に解明するとともに、金権政治の根を断つことが必要です。

政治資金規正法は1回のパーティーで20万円超のパーティー券購入者の名前を報告書に記載することを義務付けています。ところが自民党の5派閥は18～21年に開いたパーティーで、20万円超の大口購入者の名前が記載されていないことが発覚しました。しんぶん赤旗日曜版が昨年11月6日号で報じ、連続追及しています。上脇博之神戸学院大教授が刑事告発し、東京地検特捜部が捜査しています。

企業・団体が支払うパーティー券代は、形を変えた企業・団体献金です。政治家個人に対する企業・団体献金は禁止されているにもかかわらず、「政党支部」を隠れみのにした政治家個人への献金も事実上行われています。抜け道をなくすることが不可欠です。（しんぶん赤旗 11月25日付）

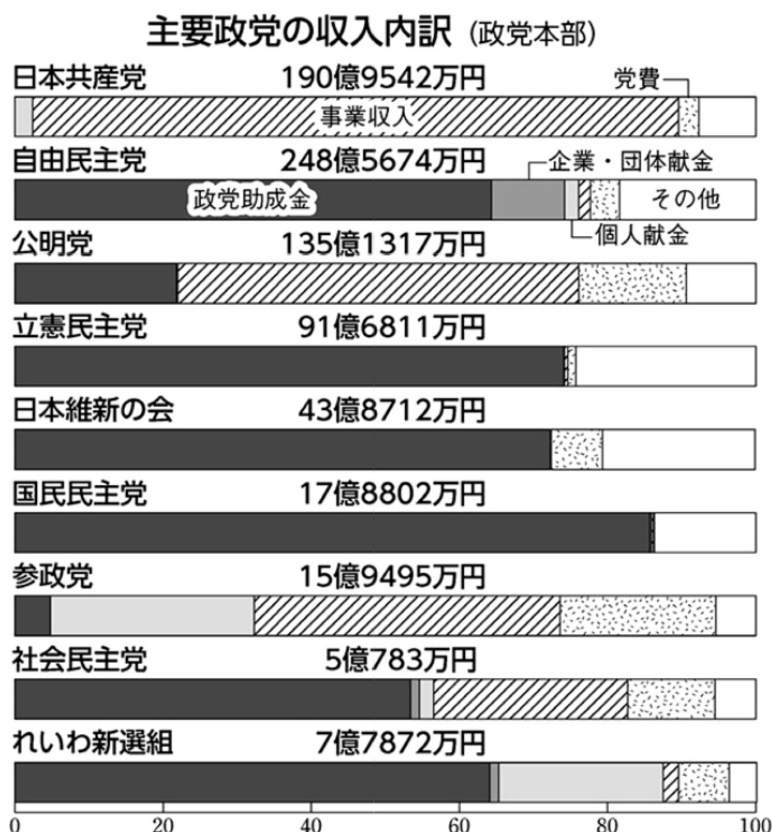
## 日本共産党 2022年政治資金収支報告

日本共産党中央委員会の収入総額は190億9543万円、支出総額は194億2345万円、繰越金は1億0013万円でした。収入構成で明らかとなり、日本共産党は、憲法違反というだけでなく、政党の墮落につながる政党助成金も、カネの力で政治をゆがめる企業・団体献金も、いっさい受け取っていません。

日本共産党は、党員が納める党費、「しんぶん赤旗」読者からお購読料、個人からの寄付など、「国民が主人公」の姿勢を貫く政党として、党員と支持者、国民から寄せられる浄財のみですべての活動資金をまかっています。

また、収入の87.2%、支出の63.2%を機関紙誌等事業活動が占めています。このことは日本共産党が「しんぶん赤旗」を中心に国民と深く結びついて活動していることの反映です。

（しんぶん赤旗 11月25日付）



### 政党助成金（国民の税金）・献金二重取り 231億円政党助成金ためこみ

自民党本部の全収入に占める政党助成金の割合は、64.3%と政治活動の多くを税金に依存。企業・団体献金の割合も9.9%と他の政党と比べ突出し、税金と献金の二重取りの構造は変わっていません。同党本部の収入は248億5674万円で、政党助成金は、159億8231万円でした。政治資金受け皿団体「国民政治協会」（国政協）に、企業・団体、政治団体などから28億9959万円が献金され、そのうち24億5000万円が自民党本部に入りました。

国民一人あたり250円の税金を原資にした政党助成金は、2022年の政治資金で大きな比重を占めています。余っても国庫に返納せず、「基金残高」の名で積み立て、翌年に繰り越した政党助成金は、総額230億8921万円。最高額は自民党の203億5706万円です。